

災害時小児周産期リエゾンについて

災害発生時の小児・周産期医療に係るコーディネート体制を強化するため、三重県災害時小児周産期リエゾンを委嘱します。

1. 災害時小児周産期リエゾンについて

災害時小児周産期リエゾン（以下、「リエゾン」という。）は、県が小児・周産期医療に係る保健医療活動の総合調整を適切かつ円滑に行えるよう、県保健医療調整本部において、被災地の保健医療ニーズの把握、保健医療活動チームの派遣調整等に係る助言及び支援を行う災害医療コーディネーターをサポートすることを目的として都道府県により委嘱される者です。

国は平成 31 年 2 月 8 日付けでリエゾンの運用、活動内容等について示した「災害時小児周産期リエゾン活動要領」を策定しました。（資料 4－2）

【災害時小児周産期リエゾン活動要領の概要】

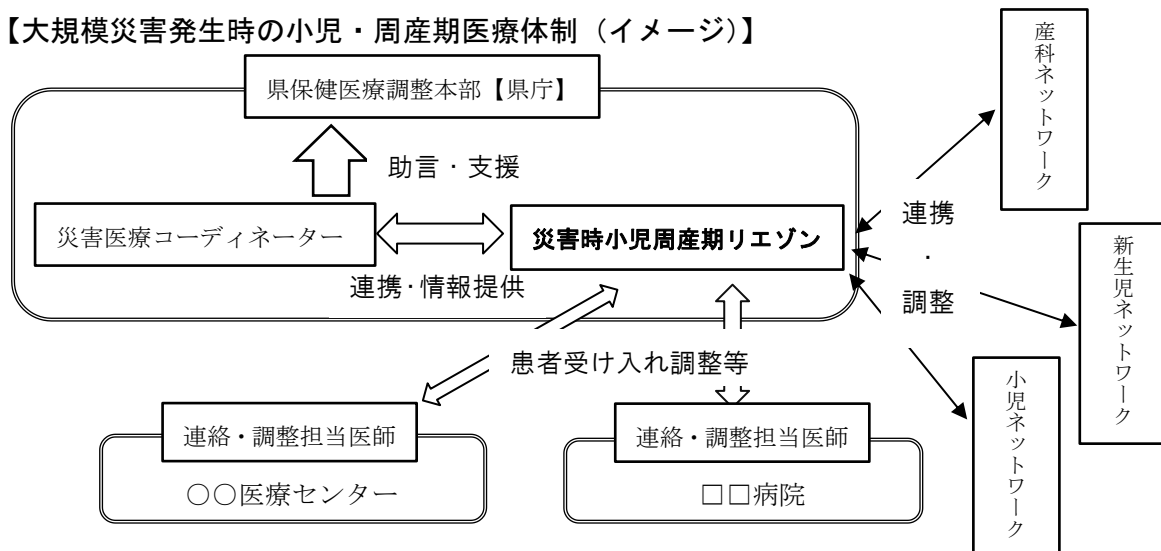
①平常時の準備

- ・運用に係る計画の策定
- ・リエゾン所属施設との活動内容や身分保障等の協定の締結
- ・研修、訓練の実施 など

②災害時の活動

- ・リエゾンの招集、配置、運用
- ・リエゾンの業務（被災情報の収集・分析、人的支援の調整等）など

【大規模災害発生時の小児・周産期医療体制（イメージ）】



2. 本県における状況について

本県においてもリエゾンの委嘱に向けて、運用計画や協定書等の策定を進めてきました。（資料４－３）

また、本県の小児・周産期医療提供体制に精通した産科・小児科の医師 15 名に国の専門的な研修（災害時小児周産期リエゾン養成研修）を受講いただきました。

【災害時小児周産期リエゾン研修受講者（H28～R1）】

診療科	所属病院	名前
産科・産婦人科	市立四日市病院	大里 和広
	三重大学医学部附属病院	鳥谷部 邦明
		田中 博明
		二井 理文
	三重中央医療センター	前川 有香
		神元 有紀
	伊勢赤十字病院	日下 秀人
小児科	桑名市総合医療センター	馬路 智昭
	県立総合医療センター	杉山 謙二
	三重大学医学部附属病院	澤田 博文
		岩本 彰太郎
	三重病院	菅 秀
	三重中央医療センター	盆野 元紀
		山本 和歌子
	伊勢赤十字病院	鎌田 尚樹

3. 今後の予定

上記のリエゾン研修受講者について、所属病院等の理解を得ながら、リエゾンの委嘱を進めていきます。リエゾン委嘱後には、リエゾン間の情報交換や訓練等を通じて活動体制を整備していきます。

また、来年度も国のリエゾン研修を受講することでリエゾンとして活動できる人材の充実を図っていきます。